

2022年度社会福祉士実習指導者講習会開催要項

主催：公益法人東京社会福祉士会

後援：公益社団法人 日本社会福祉士会

一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟

2012年4月から実習指導者の要件として、実習指導者を養成するための講習会の受講が義務付けられています。2021年から社会福祉士の養成カリキュラムが新しくなり、社会福祉士会が実施する実習指導者講習会は、2022年度より新カリキュラムに対応した内容となっています。下記の日程で、2022年度社会福祉士実習指導者講習会を開催しますのでご案内します。本講習会は実習指導者の要件を満たす講習会として厚生労働省に届け出たものです。

※2022年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Zoomを使用したオンラインで研修を行います。

日程・会場・定員・内容

日程	2023年3月18日(土)～3月19日(日)
会場	オンライン研修 (Zoomミーティングを使用)
定員	80名
社会福祉士を対象とした2日間の研修 (実習指導概論、実習マネジメント論、実習プログラミング論、実習スーパービジョン論の4科目構成)	

研修プログラム

【1日目】

9:45～10:00	オリエンテーション/開講式
10:00～12:00	実習指導概論 (講義2時間)
12:00～12:45	昼食・休憩
12:45～14:45	実習マネジメント論 (講義2時間)
14:45～15:00	休憩
15:00～18:00	実習プログラミング論 (講義3時間)

【2日目】

9:00～17:00	実習スーパービジョン論 (講義・演習7時間) ※途中に昼食・休憩あり
17:00～17:15	閉講式/修了証授与

申し込み方法等

1. 受講対象者・資格

- ① 社会福祉士であること。
- ② Zoom ミーティングに参加できること (カメラで参加状況が確認できること、マイクで通話ができること) 高速で安定した通信環境が確保できること、かつ電子メールの送受信ができること。

2. 受講費 (テキスト代は含みません。)

都道府県社会福祉士会会員：10,000円 その他の社会福祉士：20,000円

※入会手続き中の場合は会員扱いとなります。

3. 申込方法

- ① 所定の受講申込フォーム(A)に入力後、受講申込書(B)に必要事項を記入の上、郵送または FAX にてお送りください。受講申込書(B)の送付 (必着) をもって受講申込みは完了となります。
- ② 受講資格 (社会福祉士) を確認しますので 都道府県社会福祉士会会員以外の方は必ず「社会福祉士登録証」のコピーを添付してください。
- ③ お申込みは先着順ではありません。申込受付期間終了後、受講者を決定します。
- ④ 受講定員を超えた場合は、原則会員を優先し、実習指導との関わり、社会福祉士資格取得年等を考慮し受講者を選考します。実習指導経験のある方、今後実習指導をする予定の方は受講申込書の...(B)の5.(実習指導との関わり)...および所属長の署名欄をご記入の上お申込ください。

4. 申込受付期間：12月1日（木）～12月26日（月）

申込受付期間外のお申込は受け付けられませんので、必ず上記期間内にお申込ください。

5. 受講可否の通知

受講可否は12月20日を目安に文書にてご連絡します。あわせて、受講費の納入方法、キャンセルの扱い、テキストの購入等についてもご案内します。

6. 申込上のご注意

- ①受講申込書（A・B）は、記入間違いや記入漏れのないようにご記入ください。
- ②受講申込書（A）の1から3（お名前・生年月日・ご住所）は修了証に記載される事項で、厚生労働省より指定されています。
- ③郵送の場合は受講申込書のコピーをお手元にお控えください。

7. 研修テキストについて

『新版 社会福祉士実習指導者テキスト』（中央法規出版、2022年）を講習会テキストとして位置づけています。原則、実習指導者講習会当日までに『新版 社会福祉士実習指導者テキスト』をお読みください。テキスト購入方法については受講決定時にご案内します。

8. 修了の認定

- ①本研修は実習指導者となるための認定研修となります。全科目の受講が修了認定の条件となります。遅刻・早退・離席等がある場合は修了とはなりません（受講者側の通信不良、機器設定の不備による場合も同様です）。
- ②修了者には、研修終了後に修了証を発行します。実習指導者になるためには修了証が必要となります。

9. 備考

- ①本研修は、Zoomを使用したオンラインで行います。（集合型の研修ではありません）。各自にインターネット環境、使用する端末にカメラ機能・マイク機能があることが前提です。研修は長時間に及ぶため、パソコンでの受講を推奨いたします。（機材の貸出等はありません）。
- ②講習会当日に受講者側の通信環境が悪い、または機器設定ができない場合は、受講を断念いただく場合があります。
- ③研修は双方向性で行います。受講時は、Zoom画面に受講者全員の名前、顔が映ります。
- ④研修の記録として、本研修内容を録音いたします。（録音した映像等については、記録以外に使用することはありません）
また、受講者側での録画や録音は禁止いたします。
- ⑤受講にあたって配慮が必要な方は、申込書の該当フォームにその旨を記載の上、お申込ください。

【注意】

(1)研修単位について

本研修は、認定社会福祉士認証・認定機構から社会福祉士を基礎資格として活用する制度における資格研修として指定された研修です。 **科目の区分**：認定社会福祉士／共通専門／サービス管理・人材育成・経営系科目群 I

科目名：人材育成系科目 I **単位数**：1単位

(2)本研修の修了時に配付する修了証は再発行できませんので、紛失しないよう十分にご注意ください。

【参考】社会福祉士に関する科目を定める省令に規定された実習指導者の要件は以下のとおりです。（実習指導者講習会の受講要件ではありません）

「社会福祉に関する科目を定める省令 第四条八号」

実習施設等における相談援助実習（市町村において相談援助実習を行う場合を含む。）を指導する実習指導者は、社会福祉士の資格を取得した後、相談援助の業務に3年以上従事した経験を有する者であつて、かつ、実習指導者を養成するために行う講習会であつて厚生労働大臣が別に定める基準を満たすものとしてあらかじめ厚生労働大臣に届け出られたものを修了した者であること。

お問合せ先・申込先

公益社団法人東京社会福祉士会 事務局 生涯研修センター担当：渡会、星野、岩本

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5階

TEL：03-5944-8466（受付時間 10：00～16：00）

FAX：03-5944-8467 E-mail：syougaiakensyuu@tokyo-csw.org